

平成29年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成19年6月1日
		指定年月日	平成25年6月1日
法人名	株式会社 ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家 横浜宮沢3		
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢4-28-8		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成30年3月10日	評価結果 市町村受理日	

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今までの生活と変わりなく過ごして頂けるよう、ご入居者様の意思を尊重しての支援を心掛けております。重度化傾向も見られますのでADLに合わせた体操等を行っています。塗り絵や編み物、お習字等の個別ご趣味に合わせ作品の展示を行い意欲向上に繋げております。季節ごとのイベントや外出へは御家族、ボランティアの方々の協力を頂き地域との親交を図っております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル3階		
訪問調査日	平成30年3月21日	評価機関 評価決定日	平成30年5月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄線いずみ野駅からバスに乗り、「ひなたバザール山前」下車、徒歩5分の所にあります。閑静な住宅街を抜けて、駐車場や畑に囲まれた所に立地し、近くには、公園やコンビニ、郵便局、ホームセンターなどがあります。

<優れている点>

事業所の理念は「地域と共存した明るく楽しいホーム創り」です。職員は毎日出勤時に理念や虐待0への行動指針などに必ず目を通して押印しています。ホーム長は「1日最低10回は利用者と共に笑おう」と職員に呼び掛け、実践しています。毎月身体拘束廃止委員会を開催し、具体的な事例について検討し意見交換しています。また、職員間で注意し合えるような関係を築いています。「それ、ダメだよ。」ではなく、「それ、トマト。」と相手を傷つけない言い方に配慮しています。また、昨年、転倒骨折0、誤薬0、入院・退去者0で、法人から「優秀事業所」として表彰されています。

<工夫点>

ふらつきや転倒の恐れのある利用者の居室には、チェストや窓の足もと、出入り口などに緩衝材を取り付けたり、床にクッション性のあるジョイント型のフロアマットを敷いたりして、万一転倒しても大事に至らないよう工夫しています。職員のシフト時間を少しずらして職員の人数に厚みを持たせ、散歩や外気浴の時間を確保するなどしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜宮沢3
ユニット名	I U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ステーション内に掲示しています。常に意識する事で理念実践へ近づける様に実践しております。	理念は玄関や事務所など目につく所に掲示しています。職員は出勤すると、理念や虐待0への行動指針などに必ず目を通し、読み終わると印鑑を押して日々確認しています。ホーム長は「1日最低でも10回は利用者と一緒に笑おう」と呼びかけ、実践しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	交流機会はなかなか持てないが、外出時や野外清掃中などに近隣の方々への挨拶を心掛けております。	フラダンスやバイオリン・バンド演奏、歌、語りなど様々なボランティアが来ています。また、介護相談員の来訪や、近所の支援学校にも遊びに行っています。外にガラス戸付きの掲示板を設置して事業所から地域への情報発信強化を計画しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会への加入。キャラバンメイトへの参加。運営推進会議で情報を提供しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度、開催しておりホーム内の情報をおつたえしております。御出席の方々より意見交換や情報を頂きサービス向上に繋げております。	運営推進会議は、同一町内会にある同一法人の3つのグループホームが合同で2ヶ月に1回行っています。活動報告の後、出席者の意見や要望、地域からの情報が寄せられています。各種公開講座や感染症予防など、出される様々な話題を事業所の活動に活かしています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には区役所へ出かけておりません。認定更新時、ご入居者様の暮らしぶりやニーズの具体をお伝えし連携しております。	ホーム長は、分からないことや相談などがあると、区役所高齢支援課に行き相談をしています。生活支援課とも連携をとり、利用者の様子などを伝えていきます。グループホーム連絡会や研修にも参加し、人脈を広げ、情報を得て、サービス向上に活かしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月1度は『身体拘束廃止委員会』を開催しております。社内外の研修に参加し勉強会、情報提供を行っております。	職員は毎日虐待0への行動指針を読み上げています。毎月身体拘束廃止委員会を開催して勉強し、具体的に検討しています。職員は利用者の動線に危険の無いように常に整理整頓を心がけています。「それ、ダメだよ。」ではなく、「それ、トマト。」と傷つけない言い方で職員同士注意しあっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に1度の『全体会議』にて虐待防止についての勉強会と意見交換を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	対応が必要とされるご利用様がいらっしゃる際は管理者、ケアマネジャーが対応しています。他職員には申し送りにて情報提供を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	丁寧に説明し御理解いただけるよう十分な時間を取っております。不安な事や疑問点には出来る限りでお答えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や面会の機会に個別にお時間をご頂ける限りで、ご意見御要望をお聞きしております。玄関には意見箱を設置し苦情相談も明確にしております。	利用者とは日ごろから会話を通して意向を把握しています。年6回の家族会では家族の要望や意見を聞いています。また、面会時には挨拶と共に努めて話をし、意見を聞くように心がけています。家族の希望により、医療と相談して、利用者の食事の形態を変えています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度の『全体会議』『フロア会議』にて情報提供と意見交換を行っている。	職員は全体会議やフロア会議で意見を言いやすい環境にあります。時には議論を戦わせることもあります。ホーム長は職員の出勤時に声をかけ、体調や気持ちの変化に心配りをしています。定期的な個別面談はざっくばらんに話をする機会としています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員と個別に話す機会を作っている。個別面談を定期的に行っています。出勤日は必ず声を掛けて対話しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の参加。参加した職員からの実施指導を行っている。不安や疑問にはその都度対応しアドバイスや指導を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域での講習会や研修に参加して交流と情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にご本人とお話できる時間を作り、今までの生活状況や御希望を伺い不安なく過ごして頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前面談では心配事や配慮する面について、お話を伺っています。安心して過ごして頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御入居後はしばらくの間、遠慮があったり不安な様子が見られますのでこまめな様子観察を行いお声掛けを行っています。お気持ちに配慮したケアを心がけています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の生活ペースにあった過ごし方や出来る範囲での役割を担っていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に一度、ホームより『一言通信』にて報告をしています。ご本人より要望があったり気が付いた事があれば電話にてもお知らせしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	手紙や電話等の御希望の際はすぐに対応出来る様に体勢を整えております。御友人のご面会でも御家族様と同じように対応しております。	家族や友人が来た時には居室でゆっくり出来るように配慮しています。日本舞踊の先生だった利用者に夏祭りの踊りの指導をしてもらったり、学校の先生だった人に書を書いてもらったり、利用者がこれまで培ってきた力を出せるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事席の配慮。違うフロアの気の合う利用者様との交流として御希望があれば居室での対話も設けています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所者リストや転居先への御挨拶状にて近況を伺っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にあセスメントを用いてご要望の把握に努めています。	居室担当制で、職員は自分の担当の利用者には特に注意深く接し、言葉以外でも表情や仕草、行動などで利用者の希望や意向を汲み取っています。1対1の入浴時間を大事にし、少しの変化でも申し送りノートに記録して職員間で共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	対話などのコミュニケーションにて昔話等からも聞きとりを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	面談等によりご本人だけでなく御家族からも情報を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的カンファレンスで情報を共有している。	毎月のフロア会議で利用者の現状を話し合っています。利用者、家族、職員、特に居室担当者からの情報や意見を基に、医療とも相談の上、計画担当者が半年に1回ケアプランを作成しています。3ヶ月ごとにモニタリングを行い、急変時には随意時変更していません。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	お一人ずつの日々の生活の様子を生活記録に時間を追って記入し、職員間で気づきを提案して実践に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	シニアセラピーや訪問マッサージを行っています。人員不足とご利用者様の重症化により対応しきれない部分もあるが柔軟に対応していきたい。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	移動販売や訪問理美容、ヨーグルトの宅配を利用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	携帯医療機関の往診を契約時に説明しております。外部受診については可能な限り御家族様での対応をお願いしています。	かかりつけ医は利用者や家族が決めています。事業所の協力医は内科が月2回、精神科医が月1回、歯科医が月2回、歯科衛生士が月4回、看護師が週1回往診しています。外部受診は原則家族の付添いです。口頭で受けた受診結果は報告書に記載し、共有していません。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の医療連携看護師の出勤日に個々の様子を紙面と口頭にて報告し、必要に応じて携帯医療機関への連絡を取って頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働	入院時に必要な情報を提供し連携を図っています。面会に伺い入院中のご様子を把握し病院、ご家族へと情報をお伝え致しています。退院後も体制を整え安定した生活が出来る環境を提供します。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	状況に応じて、ご家族様との話し合いをし御意向を伺って医療との連携を図ります。職員全員で支援致します。	看取りの実績があります。入居時に重度化した場合の対応や看取りの指針を説明しています。終末期には、再度、利用者や家族などの意向や医療機関の意見を聞いています。看取りを実施する場合は、家族や医療関係者などと連携し、職員全員で支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成し職員全員に周知徹底しております。普通救命講習へも参加しており、職員全員の講習終了と技能維持の為の講習も参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、日中と夜間想定で避難訓練を行っております。消防署の協力を得て救命講習や応急処置法等も学ばせて頂いています。	日中と夜間を想定した火災の避難訓練を年2回実施しています。内、1回は消防署の立ち合いを受けています。当日は、通報、避難、消火器の使用訓練を実施しています。また、地域の水難訓練にも参加しています。災害時用の水や食料は3日分を備蓄しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人の個性を良く知り理解をした上での声掛けによる個別対応をし声掛けにも注意しています。個人情報等は守秘義務に基づき十分に理解し管理しています。	職員は、接遇研修などを通じて、利用者が自分らしく自分のペースで生活できるように支援しています。利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損なわないように、トイレ誘導を始め、居室への入室の際の声掛けやドアノックにも注意を払っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お声掛けから意向を伺い、選択肢を持ち自己決定の出来る場を提供しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	御自身でその日、着用する衣類を選んで頂いてます。御希望の場所でお好みのままに過ごされる様、体調に配慮しながら支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧等、美容も入居前と変わらぬ環境を保てる様に御家族様に協力を得ています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備を体調や状況に合わせて職員と一緒にしております。各テーブルに職員が座るようにし会話も楽しみながら召し上がれる環境を作っています。下膳、食器拭き等も職員と行っています。	法人の栄養士がメニューを作成し、業者が食材を納入し、委託先の専門の職員が調理しています。職員も同じテーブルで食事介助をしながら一緒に味わっています。下膳、食器拭きを手伝う利用者もいます。誕生日などの行事食も希望を聞いて提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を把握し記録しています。摂取しやすい形態の食事提供をし摂取状況を確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	月に4回、携帯医療機関の歯科医師と衛生士による治療と指導を頂いてます。食後は必ず口腔ケアを実施し、必要に応じて介助を行い清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄を大切にし、ひとりひとりの排泄パターンを排泄表を用いて把握しています。個々に合わせた排泄用品を使用頂き、不快感を感じない様支援しています。	排泄チェック表を活用し、個人の尊厳を損なわないようさりげなく声掛けして利用者をトイレに誘導し、トイレでの排泄を支援しています。夜はおむつで昼間は布パンツに改善したり、容量が6回分のパッドから2回分に変更できた利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表と健康管理表に記録し、排泄状況を携帯医療機関へ繋いでいます。必要に応じて相談し、下剤を検討しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は毎日行い、体調や安全を配慮して行っています。体調によって入浴が困難な時は清拭、足浴等で対応しています。	浴室は1階と2階にあり、利用者の体調などに配慮しながら、週に2回入浴しています。浴室や更衣室には暖房設備を設置しています。身体機能に応じてシャワーチェアを利用したり、1階でリフト浴をする利用者もいます。柚子湯や菖蒲湯で季節を感じています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お一人ずつの日々の生活リズムを大切に、ゆっくり休んで頂けるよう環境を整えています。夜間照明や温度管理にも配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	与薬には服薬確認表を用いて、職員2人で確認しています。不明点などは医師や看護師、薬剤師に連絡が取れる体制にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	おひとりごとの趣味や得意分野に合わせた支援をしております。一緒に楽しめるゲーム等でのレクリエーションを行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的には行えていないが、天候を考慮した上で散歩や外気浴、日光浴を行っている。	近くの公園や住宅街を回る散歩コースがあります。途中のコンビニで買物をすることもあります。散歩に出掛ける機会は、介護度が高くなることなどにより減少しています。家族と一緒に墓参りや外食及び買い物に出掛ける利用者もいます。	一部職員の勤務時間延長やユニット合同で散歩を行うことで付添い職員を確保し、散歩の機会を回復するように努めています。今後更なる工夫や人的対応により散歩の機会を増やすことが期待されます。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様の意向、トラブル防止の為常時の所持は行っていませんが買い物など必要に応じて預かり金より対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	御要望に応じて、電話、手紙共に何時でも対応出来る体制を整えております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	四季を感じられる飾り付けをフロアや居室に行っています。共用スペースには清潔感を大切に居心地の良い環境作りをしています。	食堂兼リビングはゆったりとくつろげる広さがあり、テーブル、ソファ、テレビなどが整然と配置されています。南は全面ガラス戸で明るい空間になっています。壁面は利用者や職員が制作した作品が飾られています。2階壁面の掲示板「2階の美術館」にはぬり絵が掲示されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	御希望にて食席の移動をしたりと自由に過ごせる環境にしています。ソファにて日向ぼっこを楽しまれています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今までお使いになられていた品や思い出の物などをお持ち頂いています。	居室内には、ベッド、ダンス、クローゼット、エアコン及び洗面台が設置されています。怪我防止用として床やダンスの角、及び車いす利用者の居室の入口の角がクッション材で保護されています。仏壇やテレビなど利用者の馴染みの物品も持ち込まれています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	身体機能の状態変化に考慮し、合わせた生活環境を整えています。危険防止にも考慮し緩衝材やガードを使用しています。		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜宮沢3
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ステーション内に掲示しています。常に意識する事で理念実践に近づけるように実践しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	交流機会はなかなか持てないが、外出時や野外清掃中などに近隣の方々への挨拶を心掛けております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会への加入。キャラバンメイトへの参加。運営推進会議で情報提供しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度、開催しておりホーム内の情報をお伝えしております。ご出席の方々と意見交換、貴重な情報等を頂きサービスの向上に繋げております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	必要に応じて区役所に出かけております。認定更新時にはご利用者様の暮らしやニーズの具体をお伝えして連携しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月1度は『身体拘束委員会』を開催しています。社内外の研修、講習会に参加して勉強会、情報交換を行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	毎月1回の『全体会議』にて虐待防止についての勉強会と意見交換を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	対応を必要とされるご利用様がいらっしゃる際はホーム長、管理者、ケアマネージャーと連携を取り対応しております。他職員には申し送りにて情報提供を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	丁寧な説明を心掛け、ご理解頂けるよう十分に時間を取っております。不安な事や疑問点には出来る限りでお答えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や面会の機会に個別にお時間を頂ける限りで、ご意見やご要望をお聞きしております。玄関は意見箱を設置し苦情対応も明確にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度の『全体会議』と『フロア会議』にて情報交換と意見交換を行っています。（同日開催）		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員と個別に話が出来る機会を作っています。個人面談を定期的に行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修の参加を推進しています。参加した職員からの実施指導も行っています。現場ではその場で指導し、アドバイスなども行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域での講習会や研修に参加して交流と情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にご本人とお話できる時間を作り、今までの生活状況や御希望を伺っています。不安なく過ごして頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前面談では心配事や配慮する面について、安心出来る様にお話を伺っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居後は新たな環境に慣れず、しばらくの間は不安げな様子や遠慮が見られます。こまめな様子観察を行い、必要に応じて声掛けを行いお気持ちに配慮しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人の生活ペースに合わせて出来る範囲の役割を担って頂きながら支援しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に1度のホームよりの発信紙『一言通信』に手の報告と必要に応じて電話でのお知らせをしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	手紙や電話をご希望された際は、すぐに対応出来る様に体勢を整えています。ご友人のご面会にもご家族様と変わらぬ対応をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合った方々との座席の配慮。違うフロアの方でもご要望があれば行き来し居室で過ごして頂いたりしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所者リストや転居先へのご挨拶状にて近況を伺っています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にあセスメントを用いてご要望の把握に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	対話などのコミュニケーションを用いて聞き取りを行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	面談等で、ご本人やご家族様からも情報を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期的カンファレンスを行い情報共有に努めています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	お一人ずつの日々の様子を生活記録に記入し、職員間での気づきを提案しながら実践に繋げています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	シニアセラピーや訪問マッサージを行っています。今後も柔軟に対応していきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	移動販売や訪問理美容、新聞の個人購読を利用しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	連携医療機関の往診を契約時に説明しています。外部受診などは緊急時にも可能な限りご家族での対応をお願いしておりますが職員も体制を整えています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1度の医療連携看護師の出勤日までにご様子を記録し、口頭でもお伝えしています。必要に応じて携帯医療機関への連絡を取って頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に必要な情報を提供し、退院時には情報を頂いています。退院後も安定した生活が出来る環境を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	状況に応じたご家族との話し合いを行い、ご意向を伺っています。医療との連携を図り職員全員で支援いたします。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルを作成して職員全員に周知しています。普通救命講習へも参加しており、職員全員の講習終了と技能維持を図っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、日中と夜間想定で避難訓練を行っています。消防署の協力を得て救命講習や応急処置法等も学ばせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人ずつの個性を良く知り理解するように努めています。個別対応を行っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	お声掛けから意向を伺い、選択肢を持って自己決定の出来る場面を提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご自身で着用する衣類を選んで頂いたり、ご趣味等お一人でもゆっくりと過ごして頂けるように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧、美容も入居前と変わらない環境を保てるように支援しています。ご家族様よりも協力を得ています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備を体調に合わせて職員と行っています。各テーブルに職員が座り会話を楽しみながらの食事提供をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を把握し健康管理表に記録しています。個別に摂取しやすい形状のお食事を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	月に4回、携帯医療機関の衛生士指導、2回の歯科医師往診で治療して頂いています。食後はこうケアを行い必要に応じて介助しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレでの排泄を大切に支援しています。排泄パターンを排泄表を用いて把握しています。排泄用品も個々に合わせて不快を感じない様支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排泄表と健康管理表に記録し、排泄状況を医療連携機関へ繋いでいます。必要に応じて相談し下剤の使用を検討しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は毎日行い、体調や安全に配慮して行っています。体調によって入浴が困難な時は清拭や足浴棟で対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	お一人ずつの日に生活リズムを大切に、ゆっくりと休んで頂けるように環境を整えています。夜間照明や温度管理にも配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	与薬は服薬確認表を用いて、職員二人体制で確認しています。不明点などは医師や看護師、薬剤師に連絡が取れる体制にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	おひとりずつの趣味や得意分野に合わせた支援をしています。一緒に楽しめるレクリエーションを行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な外出は行えていないが天候を考慮した上で散歩や外気浴を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族様の意向やトラブル防止の為、常時の所持は行っておりません。必要に応じて預かり金からの買い物に応じています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご要望に応じて、電話、手紙などに対応出来る体制を整えております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	壁面にご利用者様の作品を『2階の美術館』とし塗り絵がご趣味の方々の作品を毎月飾っています。共用空間はつねに清掃され清潔です。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	大きな窓から外が見渡せるようにソファを置き、日向ぼっこや読書などを楽しんでいます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今までお使いになられていた馴染みの家具や思い出の品、仏具などをお持ち頂いています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	身体機能の状況に考慮した生活状況に整えています。危険防止にも考慮し、動線確保や整理整頓し緩衝材も使用しています。		